

## 予餞会から

男子バスケットボール部

戸部駿

私は、予餞会でバスケット部の出し物を見たとき、二年前を思い出した。今年のバスケット部の出し物が、私たちが二年前に予餞会で行った出し物のリメイク版だったためである。あの時は、それまで部活を引っ張ってくれた先輩方に感謝の気持ちを伝えられるように一生懸命出し物を行ったことを覚えている。その後、二年になり、三年になりと二年が経過し、今度はそれらを受け取る側になった訳だが、私達ははたして感謝されるような先輩になることができたのだろうか。私は今まで一生懸命部活に取り組んできて、最後の一年は部長としても頑張ってきた。もちろん全てが上手くできた訳でもないし、顧問であった栗原先生や江森先生、関口先生に迷惑をかけてしまったり、怒られてしまったりもした。それでも最後まで教えてくれた先生方には感謝の念が絶えない。しかし、私達の部活に対する姿勢から、尊敬や感謝などという大層な感情でなくても、何か先輩達に思ってもらうことができていたならばと思う。

## たくさんさんの感謝

吹奏楽部 高橋史歩

先日私は私たちのために素晴らしい予餞会を開催していただきありがとうございます。私には吹奏楽部に所属していたこともあり、特に後輩たちの演奏を楽しみにしていました。コロナ禍で思うように練習ができず、長い状況だったと思いますが、成長した後輩たちの演奏を聴くことができ、とても嬉しかったです。二年半の部活生活から、私は、音楽の素晴らしさや、仲間の大切さ、みんなで一つのものを創り上げることの楽しさなど、たくさんさんのことを学ぶことが出来ました。もちろん嬉しいことや楽しいことはありますが、りませんでした。その全てが私にとって貴重な経験となりました。夏のコンクールや秋のアンサンブルコンテスト、昨年の八月一日に行った最後の演奏会。どれも私の大切な思い出です。この思い出を胸にこれから頑張りたいと思います。一、二年生のみんな、これからみんならしく頑張ってください。ずっと応援しています。

## 予餞会の準備を はよせんかい

陸上競技部

佐山・

岩崎壮馬  
植木春太

今年度は新型コロナウイルスの影響でいろいろな行事が制限されたり、中止されたりしました。そんな中、例年とは異なる形でしたが予餞会を開催してくださいました。とても感謝しています。また、貴重な部活動の時間を割いていただきありがとうございます。

今年の陸上部の出し物は、写真や音楽を合わせたスライドショーで、部活動をやっていく頃が楽しくなりました。「あれいつ撮られたんだ」と思うような写真や「あれ何やってんだ」と思うような写真もあり、おもしろかったです。部員一人一人へのメッセージでは、一、二年生が一生懸命書いてくださったのが伝わりました。あのスライドショーを見ていたら、もう一度部活をやりたいなくなりました。後輩のみんなは、今年もまだまだ大変だと思いますが、大会で活躍できるように日々の練習を頑張ってください。

〈佐山〉

僕は、実際に陸上部員として活動していた時は、部活が面倒くさくてたまらなかった。しかし部活を辞めて初めて気づいたので、部員のみんなとくだらない会話をした日々がかけがえのないものだった。在校生のみなさんへぜひ、残りの部活動の一日一日を大切に過ごしてください。今回は素晴らしい会を開いてくださり、本当にありがとうございます。

〈岩崎〉

僕は、陸上部には本当に色々な思い出があつて、今回の予餞会でそれを鮮明に思い出すことができました。実は、僕は中学一年生、二年生の時は、あまり熱心に練習せず部活はつまらないと感じていました。しかし、三年生から本気で練習に取り組んでから初めて気づいたのです。本気で何かに取り組むことはとても楽しいことなのだ。僕は中学一、二年生の時もちゃんと練習していれば、もっと記録を伸ばせていたのではないかと少し後悔しています。在校生のみなさんは何事にも一生懸命取り組んで後悔のないようにしてください。良い予餞会をありがとうございます。

〈植木〉

## 感謝を忘れずに

女子卓球部 牛坂咲良

先日、後輩のみなさんが私たち三年生のために予餞会を開いてくださいました。今年は、新型コロナウイルスの影響で例年通り行える状況ではなかったのですが、それでも動画を使うなどの様々な工夫を施して感謝を伝えてくれたその気持ちが、まずとても嬉しかったです。そして、様々な部活の思い出の込められた完成度の高い出し物を見て、私たちが三年生は後輩に感謝を伝えることができているのだろうかと考えました。三年間の活動の中で培ってきた力は、もちろん自分自身の力でもありませんが、顧問の先生方、先輩の方々、後輩のみんながいたからこそ得ることができたのもあると私は思います。そのためここの感謝を忘れないようにしたいと思います。

今思うと、私は部長として至らない点ばかりだったかもしれませんが、みんながサポートしてくれてとても助かりました。みんなと部活動で過ごした時間は大切な思い出です。一年生、二年生、日々の練習を大切に、悔いの残らない活動をして下さい。応援しています。

# 二年生

## 立志式を迎えて



校長先生からの講話

2年2組



2年1組



特別講師 QuizKnock メンバー  
渡辺航平さん

二月四日(木)の六校時に、二年生は校内で立志式を迎えました。大人になる自覚を深めて将来を意識し、進路について学習したり、立志を迎えるにあたっての作文を書いたりして当日を迎えました。立志式では、各クラスの代表者による「立志の誓い」作文発表と特別講師による講話、さらにリモートによる質疑応答を行いました。特別講師は、今をときめく伊沢拓司さん率いるQuizKnockから、渡辺航平さんにお話をいただきました。渡辺航平さんは群馬県館林市出身で東京大学法学部に進学、現在QuizKnockメンバーとしてTBSやYouTube等で活躍中の方です。ご多忙中にもかかわらず、二中の二年生のためだけに、動画を撮り下ろし、時間を調整してリモート質疑応答に対応してくださいました。生徒からの質問に、一つ一つ真剣に答えてくださり、生徒達も感激していました。以下には、作文発表代表の生徒の作文を紹介します。

## 私の目標

二年一組 尾花澤奈

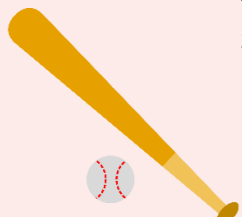
「ずっと野球をしていたい。十四を迎えた今、私の夢が決まった。」

物心をついたときから野球をすぐそばで見えてきた。兄二人の影響というか家族全員野球が好きだったのでやるのは決まっていた。男子に負けたくなくて、毎日努力した。何年も頑張つて、今では部長を任せられるほどになった。嬉しかった。みんなに伝えた。しかし、周りに言われたのは、「何年もやっているから」「まとめられるから」。まるで何も努力をせずに部長になれたと言われた気がして、とても悔しかった。

そんな体験をしてから、部長としての自覚を持ち、誰よりも努力して上手くなろうと決意した。この自覚と決意は、今後も大事にしていきたい。

私は、行きたい高校が決まっている。そこは女子野球部があり、全国でも優勝したり、日本代表選手がでたり、とてもレベルが高い高校だ。だから、前か

私は、「野球を続ける」のが夢だが、目標は「野球選手になる」こと。私の父も兄もプロ野球選手を目指していたが、なれなかった。だから、私がプロに入って活躍して、親孝行をしたい。私が、今も野球を続けているのは、この思いがあるからだ。



# しろあと

第141号  
令和3年3月8日発行  
発行：館林市立第二中学校PTA  
編集：第二中学校広報委員会

3年生のみなさんご卒業おめでとうございます。

卒業まで、いよいよあと4日！

最後の中学校生活、めいっぱい楽しんでください。

先日行われた予餞会では、1・2年生の後輩たち、そして顧問の先生方からの思いのこもったスライドショーを楽しみました。

ここでは、3年生の生徒からの予餞会の感想と後輩のみなさんへメッセージをいくつか紹介します。



気持ちのこもったスライドショーを  
食い入るように見つめる三年生



## これからの自分

二年一組 田沼永伍

僕は小学生のころからずっと面倒な物事を後回しにして、やるべきことではないことを先にやってみようという性格だ。それは言うまでもなく、学校の提出物にも影響してしまっている。なので、成績も下がってしまった。親には何度も何度も「ちゃんとやったの？」や「勉強してる？」と言われていた。私も関わらず後回しにしてしまったのだ。今思えばもっと前からそれもしっかり受け入れ、勉強すべきだったと思った。さらには、定期テストになっても課題が残ってしまっていたのだ。それはとても大変なことだ。それでも、今までの自分は「面倒くさい」の一言で後回ししていたのだ。そして、立志の意味などを知り、自分の中の立志は大切な物事を後回しにしない！というものだ。それは他の人からすれば当たり前前だと思っても知れないが、自分の中では当たり前ではなかったのだ。このままだと受験期なのに勉強を後回しにするような人になってしまおうと考えたからだ。そして、あと一ヶ月とかなったときに勉強を始めても、全くもって意味



## 私の未来

二年二組 酒井茉唯

私は、将来くじけず何事にも挑戦できる人になりたいです。また、自分の夢に向かって努力し、人に夢や希望を与えられる人になりたいです。私がそう思ったのは、今、自分自身あまり挑戦して行かなくて、もっと責任感をもって行動したいと思ったからです。また、何かを始める前からできないなど言ってしまう、ネガティブになってしまっているからです。他にも、人に夢や希望を与えられる人になりたいと思ったのは、現在コロナウィルスが流行している、医療現場で働く看護師の方々の様子などをテレビで見ても、とても大変そうだったからです。私はまだ将来の夢は決まっていますが、誰かの命を救える看護師のような人になりたいと思います。また、今の自分の性格は夢になればとこんなその事を続けられるが、興味の無い事はなかなか始めることができないので、将来、私は何事も積極的に取り組め行動に移せる人になりたいです。学校生活の中で自分の意見を言えない時が



## これから

二年二組 武田知久

僕は今年で受験生になり、さらに立志式を迎えます。これまで「大人になる」「頑張れ、受験生」という言葉は他人事のように感じていましたが、あとたったの四年で、僕は大人になってしまいます。大人になると、より責任をもつ行動し、自分で考えて生きていかなければなりません。けれど今の僕は、責任をもって何かを成し遂げたり、まわりの人から信頼されるような行動があまりできていないと思います。忘れ物を頻繁にしてしまったり、するべき事を終わらせる前に怠けてしまったりもします。今の子ども心のまま、自己管理ができない「年齢だけの大人」には決してなりたくありません。だから、最近では失敗をすぐに振り返り、短所を一つずつ減らすように心がけています。その甲斐もあってか、登校時刻が早くなったり、テストのケアレスミスが減ったりし



## 予餞会を見て

男子卓球部 青木陸聖

今年の予餞会は新型コロナウィルスの影響により、出し物がすべて録画で行われました。どの部活もクオリティが高く、とても面白い物でした。その中でも私が所属していた卓球部では劇をしていました。例年卓球部では、劇は練習時間も多く、本番でミスがあったりグダグダになってしまったりするかもしれないため、やってきませんでした。しかし、今年は録画ということもあり、劇を選んでいました。配役のしかたも上手く、部員達の得意なことがいかにせるような役作り、配役をしていて、すごいなと思いました。内容でも卓球の事や、受験生へのメッセージも入っていて、時間をかけて考えてくれたことが伝わってきて、とてもうれしかったです。

私達の最後の部活動の年はコロナウィルスにより、ほとんど活動ができずに終わってしまいました。満足に活動ができませんでした。なので、部活動が終わったということがあまり実感できずいたのですが、今回このような場を設けていただき、自分が部活動を引退したという実感をしっかりとすることができました。先生方、生徒会本部役員の方々、出し物を作ってくれた後輩達、本当にありがとうございました。

